

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/05/06号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

日銀介入でドル円大荒れ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



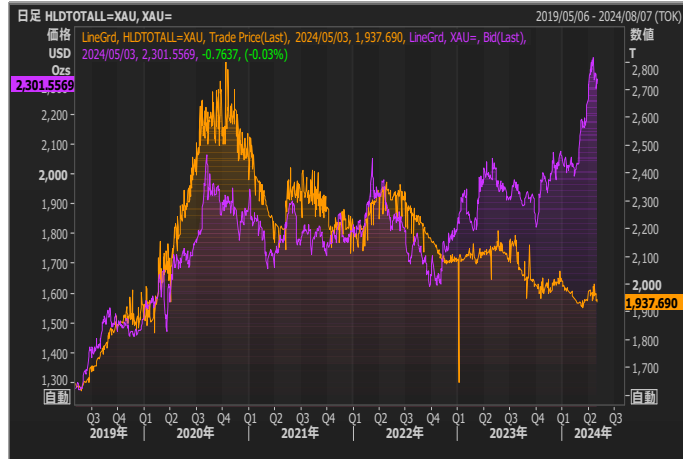
ゴールデンウィークの最大の焦点はドル円の動きでした。ドル建てゴールドは2330ドルから2300ドルまでの下げで、2300ドル割れは執拗に買われる展開であり、大きな調整にはなりません。FOMCの結果、金利下げは遠のいたという認識であったものの、次の動きは金利上げにはならないと思うという議長の発言で、ゴールドの動きは中立的なものでした。しかし円建てゴールドは大きく動きました。当然その背景はドル円の動きでした。4月29日月曜日、東京市場は休場でしたが、薄いマーケットで朝10時過ぎにドル円が160円まで跳ねた瞬間、日銀の円買いドル売り介入が入りました。介入はドルが反発するたびに合計3回、約5兆円の規模で行われたようです。しかしその介入にもふたたび158円まで円安へと進んだところで、5月2日にふたたび日銀の円買いドル売り介入が入りました。その結果153円まで円高にすすみましたが、その後もまた156円まで円安じわじわと円安となりましたが、おそらくは断続的に介入の売りが続き、金曜日の雇用統計が予想を下回る結果となったことから、ドル売りとなったことで、一時ドル円は151円まで円高がすすみましたが、一週間の終わりは153円ちょうどとなり、月曜日のスタートであった157.90レベルから約5円の円高レベルで一週間が終わりました。このドル円の動きにより、円建てゴールドは月曜日に11941円とほぼ歴史的な高値に並ぶところまで上昇しましたが、金曜日には大きく円高にふれたことにより一時11168円と高値からは770円という大きな下げとなりました。ドル建てがほとんど動いていないだけに今週の動きはほぼすべてドル円の動きによるものと言えるでしょう。合計9兆円にもおよぶこの力尽くの介入により円安のトレンドが変わるのかどうか。個人的にはファンダメンタルズにあらがうこの介入によってトレンドが変わるとは思えません。円建てゴールドは絶好のディップになったのではないのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

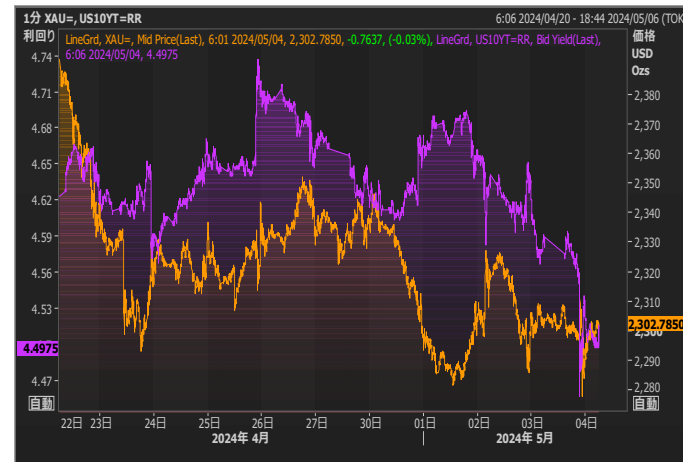
【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

ゴールドよりもボラティリティーの大きなシルバーらしく下げの勢いがゴールドを越えて、シルバーが下げました。金銀比価も86まで上昇。ゴールド同様円建ての下げは大きく、高値からは一時10円の下げとなりました。円建て130円割れ、ドル建ての26ドル近辺は買いではないでしょうか。



Gold ETF残高とゴールド価格



「プラチナの現状」

貴金属で前週上昇したのはプラチナだけでした。少し意外な動きでした。南アランドが強含んだことがその背景にあると思われますが、1000ドルに近づくとやはり利食い売りが多くなり頭を抑えられています。900-1000ドルのレンジトレーディングはまだ有効でしょう。



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで